

# 今月の 新刊速報

(2002年10月までの新刊書、内容紹介文は出版社による、出版社五十音順)

[お願い] ご注文、お問合せは直接出版社にお願いします。  
学会では扱っておりません。

## 基礎地球科学

西村祐二郎・鈴木盛久・今岡照喜・高木秀雄・金折裕司・磯崎行雄 = 著

A5判/本体価格3 200円 2002年10月1日発行/朝倉書店/03-3260-0141

地球科学の基礎を平易に解説するとともに、地球環境問題を理解し、その解決が模索できるよう配慮された教科書。地球科学を初めて学習する大学生、将来地球環境問題に携わる各学部生、土木・建築業などに携わる工学部生の入門書。

## 沿岸開発技術ライブラリーNo.10 「沈埋トンネル技術マニュアル(改訂版)」

(財)沿岸開発技術研究センター = 編著 A4判・243頁/本体価格6 667円 2002年8月発行/(財)沿岸開発技術研究センター/03-3234-5861

沈埋トンネル建設に携わる技術者の必読書である同マニュアルを、8年ぶりに全面改訂した。本書は、沈埋トンネルの最新の設計・施工法を体系的に取りまとめ、具体的かつ豊富な施工事例を含めて詳述したものである。

## アムステルダム物語 杭の上の街

堀川幹夫 = 訳 ヘルマン・ヤンセ = 著 A5判・112頁/本体価格2 200円 2002年8月30日発行/朝鹿島出版会/03-5561-2550

「アムステルダムの誕生と成長」「建物の構造と工法」「住宅の構成と細部」について、著者自らの手による豊富なイラストを用いて解説する。アムステルダムの都市と建築の歴史的流れを知る格好の入門書。

## 荒野の回廊 江戸期・水の技術者に光と影

高崎哲郎 = 著 四六判・240頁/本体価格2 000円 2002年10月30日発行/朝鹿島出版会/03-5561-2550

江戸時代の変革期に関東地方で展開された大規模土木事業「利根川東遷と江戸川の誕生」「水戸藩と勘十郎堀」「江連用水と名主三義人」。大地の声、民の声の代表としてプロジェクトを推進した地方巧者たちを中心に描く。知られざる郷土史と人物像。

## 進化する建設マネジメント

高橋英邦 = 編著 佐藤義仁・石井信明 = 著 A5判・232頁/本体価格3 000円 2002年10月1日発行/朝建設図書/03-3255-6684

今建設マネジメントは急速に変貌しつつある。本書は、建設マネジメント分野で評価の定まりつつある分野の最新情報を平易・簡明に解説している。建設技術者には必携の書である。

## 建設マネジメント実務

中山良隆 = 著 A5判・288頁/本体価格3 600円 2002年9月28日発行/朝山海堂/03-3816-1613

本書は建設事業の各段階要素「法規・規則」「計画、実施」等を事例も含めて平易に説明して、個々の段階要素の関連を示し、合理的・効率的な建設事業の遂行や建設工事の実施のための総合的知識を提供するものである。

## 親水工学試論

日本建築学会 = 編 B5判・281頁/本体価格3 500円 2002年6月30日発行/朝信山社サイテック/03-3818-1084

親水にかかわる工学的かつ社会的な側面から「親水」を体系的にまとめることが必要と考え、土木、建築、都市計画系分野の研究者、技術者が事例をもちり、共通の技術手法を明らかにした。民間・行政の実務技術者を対象。大学院生や研究者も実践的に学ぶことができる。

## 満州国の首都計画

越澤 明 = 著 文庫判・394頁/本体価格1 400円 2002年7月10日発行/朝筑摩書房/03-5687-2680

日本の統治下にあった満州、朝鮮、台湾の主要都市では、いずれも計画的なまちづくりが実施され、中でも、新京(長春)では、先進的な都市計画の理念と社会資本整備の技術が全面的に適用された。この都市計画がなぜ東京では実現されてこなかったのか、その全容が明らかにされる。土木学会賞受賞。

## ドリルで学ぶJW\_CAD for Windows 高校生からのCAD入門書

日経コンストラクション = 編 水坂 寛 = 著 B5判・270頁/本体価格2 800円 2002年10月8日発行/日経BP社/03-3238-7200

土木、建築など、幅広い分野で使われているJW\_CAD for Windowsの基本操作をマスターする書。視覚的な図解中心の解説書であるため、初めてCADを使う人や、本格的なCAD作図に取り組む人にもわかりやすい。

## 東京大地震は必ず起きる

片山恒雄 = 著 新書判・205頁/本体価格680円 2002年10月20日発行/朝文藝春秋/03-3265-1211

日本の都市は水道・都市ガス・技術は世界一流だが、停電が続けば配水池が空になり、ガス管は軒先の地下に埋められていて危険きわまりない。阪神・淡路大震災などの被害例に学び、緊急時の心得を平易に説いた。東京だけでなく全国の首都圏に住む人に不可欠な都市防災書。

## ジオインフォマティクス入門

長谷川昌弘・今村遼平・吉村 真・熊谷樹一郎 = 編著 B4判・256頁/本体価格3 300円 2002年9月20日発行/理工図書(株)03-3230-0221  
国土空間データの収集・格納・処理分析・表示を対象とするジオインフォマティクスは、従来の測量をITに変革する先端技術と位置づけられる。本書はその入門書であり、建設分野における応用測量技術をも解説。

## 斜面防災都市 都市における斜面災害の予測と対策

釜井俊孝・守隋治雄 = 著 A5判・200頁/本体価格2 800円 2002年10月10日発行/理工図書(株)03-3230-0221  
本書は、斜面災害の発生要因、予測と対策について、都市を切り口として述べた初めての書である。積み重ねた現地調査を基に、実際に都市域斜面災害のハザードマップを作成するとともに、その作成手法も紹介している。

## 選定映画・ビデオ

作品番号 201009

### 「いろは呑龍トンネル」 — 桂川右岸流域下水道雨水対策事業(雨水北幹線第1号管渠)工事 —

企 画 : 京都府流域下水道建設事務所  
制 作 : 西松・鴻池・フジタ・金下共同企業体, (株)イメージショップ E・Y  
完 成 : 2001年3月  
種 別 : VHS  
時 間 : 17分  
連絡先 : 京都府流域下水道建設事務所 桂川流域課  
TEL : 075-954-1877

都市水害を防止する雨水貯留管を、大口径泥水シールド工法(口径8m)により設置する工事について、地域の水害防御計画の説明から始めて、採用した工法の施工技術の紹介などを、わかりやすいアニメ、映像を使用して行っている。完成後では一般には見ることでできない防災施設のアカウンタビリティとして制作されている。キャラクター「呑龍(どなりゅう)くん」を設定し、周辺住民、子供たちへの広報活動、労働大臣表彰を受けた安全管理なども、歯切れよく説明している。一般、小・中学生および技術系学生に対する土木工事の啓蒙用として適切であるが、ナレーションやアニメ中で使用される専門用語に、一般にわかりにくいものがある。利用にあたっては補助的な説明があるとよい。

作品番号 201010

### 「シールド発進立坑用地の省面積システム」 省面積立坑システム(泥水式)

企 画 : 省面積立坑システム研究会  
制 作 : (株)読売映像  
完 成 : 2001年9月  
種 別 : S-VHS  
時 間 : 11分  
連絡先 : 省面積立坑システム研究会事務局  
TEL : 03-3562-6120

上下水道等の地下トンネル工事における立坑用地面積を縮小し、建設コストの縮減、環境への負荷の軽減を目的とする、平成11年度土木学会技術開発賞を受賞したシステム技術の紹介である。ここでは、その効果が大きい泥水式シールドの場合について取り上げ、切羽での固形回収切削技術、泥水管理のリアルタイム切羽安定システム、効率的な貯留と再利用を念頭に置いた泥水濃縮システム、そして立体的なセグメントストックヤードなどについて、アニメも用いてわかりやすく解説している。そして、これらのシステムを組み合わせることで用地の最適計画を行い、従来の必要面積の1/3まで縮減可能なことを説明している。しかし、専門用語が多用されているので専門家でないとは難解な部分がある。

作品番号 201011

### 「荒川放水路物語」 — 川がはぐくむ暮らしと文化 —

企 画 : 国土交通省 荒川下流工事事務所  
制 作 : (株)ソラリス  
完 成 : 2002年3月  
種 別 : VHS  
時 間 : 18分  
連絡先 : (株)ソラリス 制作部  
TEL : 03-3255-8561

荒川放水路(現在の荒川)は、流域を洪水から守るために作られた人工河川である。昭和5年に完成して以来、洪水が軽減したおかげで、流域には多くの人々が住むようになった。昭和30年代に入ると、荒川を舞台にした「文化」や「映画」が数多く登場している。

これらを、時代を追って昔の映像を利用しながら、また、現在の状況との対比をしながら紹介することにより、これらの出現は放水路の治水経済効果の一側面であること、インフラ(土木)の整備が流域の文化を育んだことを訴えている。

土木工事の直接的な成果を誇示するのではなく、長い目で見た社会資本整備の効果と役割を紹介するのに、良い作品となっている。ただ、最後のまとめに一工夫あってよい。